

〈本製品の特徴〉

- 本体内部の空気を排出し、真空にすることでオイルを抽出します。
- 本体内部にフロートが入っているので、オイルがタンクがいっぱいになると自動で抽出が止まります。(オイルが溢れ出すことはありません。)

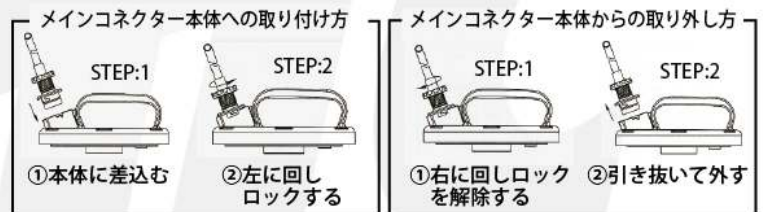
 **ご使用上の注意**

1. エンジンオイルを抜き取る場合は、車体が水平であることを確認して下さい。
2. 冷えきったオイルではうまく抜けない場合がありますので、5分間ぐらい暖気運転をして下さい。
3. 走行直後の場合はオイルが高温になっている為、油温が 80℃以下になるまでご使用にならないで下さい。  
(火傷又は容器の破損等の恐れがあります。)
4. 車種によって使用できない場合があります。
5. 必要以上にポンピングしないで下さい。タンク内の圧が下がりにすぎてタンクが破損する場合があります。
6. ガソリン等の揮発性の物には使用できません。

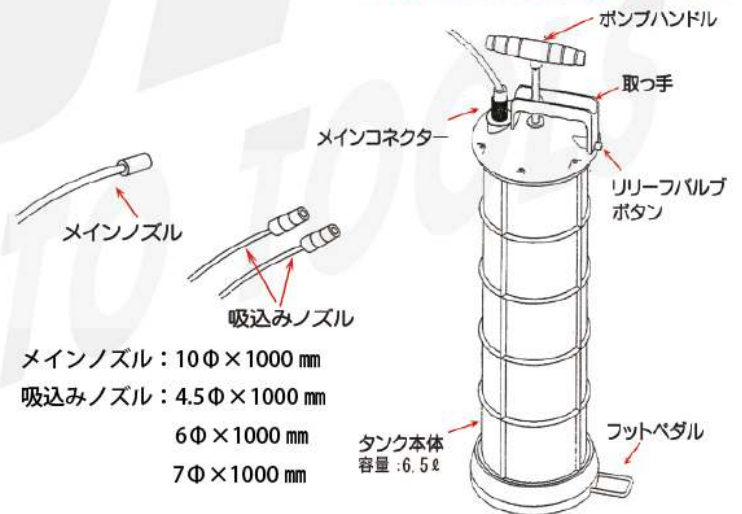
〈使用方法〉

1. エンジン側のオイルゲージを抜き取って下さい。
2. オイルゲージの穴径に合う吸込みノズルを選択して下さい。
3. メインコネクタを本体に取付けて下さい。
4. メインコネクタにメインノズルを接続して下さい。
5. 選択した吸込みノズルとメインノズルを接続して下さい。  
吸込みノズルをエンジンのオイルゲージの穴に差し一番奥まで入れて下さい。
6. フットペダルを踏み、ポンプハンドルを一番上まで上げて、上下に 10 ~ 20 回ポンピングすればオイルが抽出され始めます。オイル抽出中はポンピングし続けるする必要はありませんが、吸いが足りない場合は再度ポンピングして下さい。
7. 作業終了後、又はタンク内にオイルがいっぱいになった時は、リリースバルブボタンを押して圧を抜いて下さい。
8. 本体からノズル、メインコネクタを外し、オイルを排出して下さい。

※エンジンによっては全量吸い上げない場合があります。



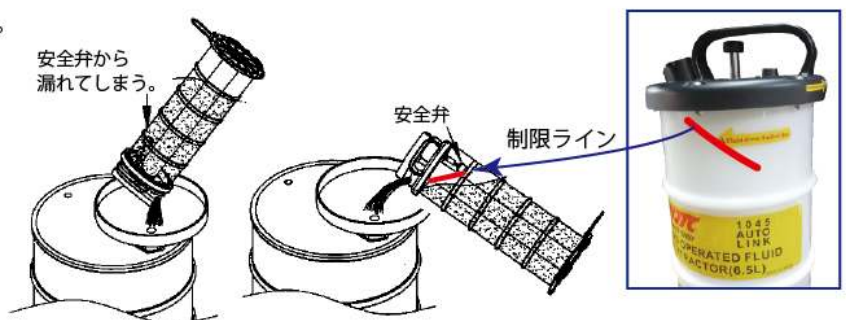
※ポンプハンドルを取手から引き上げ 90度回転させてから使用して下さい。



メインノズル : 10Φ × 1000 mm  
 吸込みノズル : 4.5Φ × 1000 mm  
 6Φ × 1000 mm  
 7Φ × 1000 mm

〈排出時の注意〉

- ・排出するときはタンクの傾きに注意して行って下さい。
- ・制限ライン以上に傾けないように排出して下さい。
- ・制限ライン以上に傾けてしまった場合、安全弁からタンク中央のオイルがエアータンク内に入り、タンク底部のエアバルブからオイルが漏れ出ます。



輸入発売元

**JTC Auto Tools 株式会社**  
 E" M : info@jtcautoools.co.jp  
 FAX : 0834-36-0010